

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学 校 関 係 者 の 意 見	
地域の活性化に つながる探究的 な学びの育成	I)「夢をかたちに」するために、常 に自ら学び続ける力を育成	<div>評価指標</div> I) ①-1家庭で予習・復習やテスト勉強を計画的に している生徒の割合80%以上。 ①-2授業で出された課題に意欲的に取り組み提 出ができている生徒の割合90%以上。 ①-3単位制による多くの選択科目や少人数授業 等が充実していると思う保護者の割合80% 以上。 ②-11年次の進路希望調査による第1志望への 進学率50%以上。 ②-2進路希望が明確な生徒の割合1年次90% 以上、2年次95%以上、3年次98%以上。 ②-3放課後補習出席率80%以上。 ③生徒・教職員・保護者による図書の貸出冊数 が、年間1800冊以上。 ④Educationプログラムを受講して良かったと思 っている生徒の割合90%以上。	<div>評価指標の達成度</div> I)	<div>総 合 評 価</div> (評定)	
	II)ICTを効果的に活用し、地域の 課題を探り解決策を考える力を 育成	II) ①-1ICTを効果的に活用する授業が展開され、 生徒自身が主体的にICTを活用していると 思う生徒の割合75%以上。 ①-2AI活用方法に興味がある生徒の割合70 %以上。	II)	(所見)	
	III)地域と連携し、地域の活性化に 貢献する力を育成	III) ①地域と連携し、地域の活性化に貢献していると 感じる生徒の割合が70%。 ②インターンシップ・校外体験学習等の参加者が 70名以上。	III)		
	I) ①「教務課・進学課」 ②「進学課・就職課」 ③「図書課」 ④「Educationプログラム室」	<div>活動計画</div> I) ①担任面談の際授業に対する取り組み方を確認 し、必要であれば教科面談を実施。 教員相互の参観授業を年2回以上実施。 教科会、年次会で学力向上に向けた検討会を 年2回以上実施。 ②-1進路志望調査を年2回以上実施。 ②-2補習内容を生徒の進学希望に添ったものに する。 ②-3大学入学共通テストプレテストを、会場であ る鳴門教育大学で実施できるよう関係機関 と調整する。 ③毎月1回「図書館だより」を発行し、新刊や展 示を紹介して、保護者も図書館を活用するよう に働きかける。 ④EducationプログラムⅠを、4月～12月まで毎 月1回各講座3コマ程度で実施する。年次末に は、1年間の学びのリフレクションを行い、発表 資料をまとめ、成果発表会を開催する。	<div>活動計画の実施状況</div> I)		

	Ⅱ) ①「情報課」	Ⅱ) ①-Ⅰ 共通アプリケーション、授業及び学習方法、危険管理対策、端末の運用管理等について教員研修を実施し、全教員がICTを活用した授業を行う。	Ⅱ)			
	Ⅲ) ①「企画推進課、各年次主任」 (1)「1年次」 (2)「2年次」 (3)「3年次」	Ⅲ) ① (1)「撫養街道を歩く」と題してボランティアガイドと連携し、フィールドワークを実施。 (1)(2) 地域の人々や鳴門市役所、鳴門市教育委員会や鳴門教育大学と連携し、講座や講演等を年3回以上実施し、成果発表会を開催する。 (3)鳴門教育大学と連携し、講座や講演等を年1回実施。 ②インターンシップ・校外体験学習の参加を促す。	Ⅲ)			
	②「進学課・就職課」	②インターンシップ・校外体験学習の参加を促す。				
「グローバルな視点」を持って地域社会に貢献できる力の育成	Ⅰ) グローバルな視点を持ち、社会の一員として行動できる力を育成	評価指標 Ⅰ) ①「全教科」を通じ、グローバルな視点を持ち、社会の一員として行動できる力を付いたと感じる生徒の割合が50%。 ②海外での語学研修や交換留学生の受入れ、海外交流提携校とのオンライン交流プログラム等に参加する生徒30名以上。	評価指標の達成度 Ⅰ)	(評定)		
	Ⅱ) 知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の育成	Ⅱ) ①英検・漢検等の資格を取得した生徒数60人以上。 ②部活動に対して意欲的に取り組む生徒の割合90%以上。 ボランティア学特講への参加生徒40人以上。 ③-Ⅰ 毎日挨拶をする生徒の割合75%。 ③-2遅刻件数年間1,000件以下。	Ⅱ)	(所見)		
	Ⅲ) 鳴門教育大学などの関係機関や外部人材との連携	Ⅲ) 関係機関や外部人材との連携が「できている」、「ややできている」と感じる生徒の割合が70%以上。	Ⅲ)			
	Ⅳ) 人権教育の推進	Ⅳ) ①-Ⅰ 板野支援学校との交流会を年2回実施。 のべ100人以上参加。中高生等による人権交流集会へ5回以上参加。 ①-2人権を意識した行動ができたと感じる生徒の割合90%以上。	Ⅳ)			
	Ⅰ) ①「各年次」 ②「各教科」	活動計画 Ⅰ) ①グローバルな視点を持ったテーマを用いた授業展開が10以上。 ②生徒への参加を促すため、情報発信を密に行う。総合的な探究の時間を連携し内容を深める機会を設ける。	活動計画の実施状況 Ⅰ)			
	Ⅱ) ①「進学課・就職課」 ②「特別活動課」 ③「生徒指導課」	Ⅱ) ①資格取得を奨励する。鳴門教育大学と連携し、2次面接等の対策を行う。 ②部活動適正化委員会の充実を図る。 ③-Ⅰ 交通委員や部活動生を中心に挨拶・マナー啓発運動を年に3回実施。 ③-2県外の好事例を収集し、有効な遅刻減少策を構築する。本校の特徴を分析し、増加傾向	Ⅱ) ：			

		のある期間に遅刻減少週間を設け、啓発に努める。(9、10、11月増加傾向)				
	Ⅲ) ①「進学課」、「企画推進課」	Ⅲ) ①鳴門市ボランティアガイド、鳴門市役所、鳴門教育大学と連携し、講座や講演等を年3回以上、フィールドワークを年1回実施。また学校運営協議会を年3回実施。実用英語検定や鳴門教育大学大学院生によるフィールドワークの実施、フィールドワーク中の大学院生によるTT授業、放課後週2回実施の個別補習「Miraiサポート」の開催。	Ⅲ)			
	Ⅳ) ①「人権教育課」	Ⅳ) ①-1板野支援学校との交流会やヒューマンネットワーク部の活動を通じて、人権が尊重され、温かい人間関係に包まれたホームルームづくり、学校全体の雰囲気づくりに努める。 ①-2人権学習HR活動を各年次年5回実施。教職員人権教育研修会を年2回実施。主体的に行動できる生徒を育てるホームルーム活動を実践。人権教育を教育活動の重要な柱とするための研修の充実。	Ⅳ)			
地域に開かれた 安心して安全な学 校や社会を醸成 する心の育成	Ⅰ)「生きる力」を育み、自他の命を尊重する、豊かな人間性を育成	評価指標 Ⅰ) ①-1SNSや交通ルール、公共マナー遵守ができていると感じる生徒の割合90%以上。 ①-2校則違反等の特別指導対象生徒5%以下。 ①-3自転車事故20件以下。 ①-4ヘルメット着用者30人以上。 ②-1ストレスや悩みに対して解消する力や相談できる力が付いたと感じる生徒80%。 ②-2悩み事を相談できる人がいる生徒の割合が、85%以上。	評価指標の達成度 Ⅰ)	(評定)		
	Ⅱ)社会を生き抜くための実践力の育成	Ⅱ) ①-1消費者としての権利と責任を理解し、社会に対して責任ある消費行動をしていきたいと考える生徒の割合80%以上。 ①-2主体的に社会に参画していきたいと考える生徒の割合80%。 ②本校災害時避難場所になることを踏まえ、防災意識が高まった生徒の割合80%。 ③規則正しい生活ができていると感じる生徒の割合90%以上。	Ⅱ)	(所見)		
	Ⅲ)PTA・同窓会との連携を図り地域に開かれた学校づくりの推進	Ⅲ) ①PTAの行事である総会・県外大学視察・体育祭ジュース販売・テーブルマナー講習会等の案内と実施報告をホームページ等で情報発信し、総会参加者200人以上、その他各行事の参加者10名以上。	Ⅲ)			
	Ⅰ) ①「生徒指導課」	活動計画 Ⅰ) ①毎月0の付く日に駐輪指導・立哨指導を実施する。鳴門市小・中学校と連携し、ヘルメット着用や自転車マナー向上等の啓発活動を年2回実施。ヘルメットアンバサダーを中心に着用促進・啓発活動を実施。	活動計画の実施状況 Ⅰ)			

②「教育相談課」	②-1 スクールカウンセラーと連携し、1 年次生を対象にストレスマネジメント講座を実施。 ②-2 支援の必要な生徒の早期発見の為、教員を対象に生徒の学校生活に関する実態調査を実施。				
Ⅱ) ①[消費者教育・主権者教育]	Ⅱ) ①-1 家庭科の授業や専門家による消費者教育講演会の実施等を通して、賢い消費者としての行動し、実践する力を養う。 ①-2 鳴門市議会事務局や選挙管理委員会と連携し、社会参画力を育む授業を構想、実施。 ② 災害の学習に関する行事（避難訓練含む）を年間3回以上実施。 ③-1 「保健だより」の発行を年10回以上行う。 ③-2 健康に関する講座を年3回以上実施。	Ⅱ) ：			
②[環境防災教育] ③[保健衛生教育]					
Ⅲ) ①[総務課] PTA・同窓会との連携を図り、ホームページ等の情報発信や教育活動の公開を積極的に推進する。	Ⅲ) ① 学校運営協議会から意見を募り、有効な手立てを構築し、実施。	Ⅲ)			

*

「評価」の基準

A:十分達成できた

B:概ね達成できた

C:達成できなかった